

### 3. 日本人との人間関係における問題点

— アンケート調査自由記入欄（日本人に対して嫌な思いをした具体例） —

西川 大二郎 解説・訳

Q18 「あなたは日本で日本人に対して何か嫌な思いをしたことがありますか」という質問に対して「ある」と答えたもの 100人(25.4%)のうち、SQ「それはどんな場合ですか」という具体的人間関係についての問題を質ねたSQに対する文章回答は91あった。その内容は後掲の別表に示したとおりである。この結果から読み取れることを整理した。

まず、アンケート総数 394に対して、この項の回答数は91で、回答率は23.1%である。この割合が大きいか小さいかは分からない。しかし一般的不満や悩みごとを訊いたQ34・Q35の自由記入の回答数 128人、回答率32.5%に比べると、日本人に関してだけの質問事項に、これだけの割合があるということは、無視することができない。

内容を見ると、外国人、とりわけわれわれブラジル人に対して偏見を持っているというものが91人中20人(22.0%)でもっとも多い。特に、日本人は racismo人種主義、あるいは racista人種差別主義者という言葉を用いてまで、非難、極言しているのが4人いること、また無知・傲慢・尊大といった日本人のいわれなき優越意識を感じ取っているものが何人かいることも注目される。

偏見は人間の態度に関わることであって、必ずしも行動を伴わないが、差別は行動を伴う。この回答の中には、日本人の外国人に対する差別を訴えたものが91人中17人、19.0%もいる。差別の内容は必ずしも明らかでないが、端的にdiscriminacaoという言葉を用いているものが多いのが特徴的である。その言葉を用いなくても、「ブラジル人は無責任だ、また日本語を知らないということで解雇された」といったように、やんわりとまたは間接的に差別を訴えているものもある。実はこの方が実質的差別といえるかもしれない。そのような者を加えると、差別を日常的に感じている者の数はもっと多くなるだろう。

また、日本人の態度を“frio”<冷たい>という言葉で表現している者も多い。“frio”には、冷淡という意味がある。これらを表す言葉として“indiferenca”とか“frieza”という言葉を用いている者もあるが、“frio”はより日常的で、無愛想、よそよそしいといった内容も含んで。何とか仲良くしようと思っているのに、うちとけてくれないといった内容を含んでいる。日本人の<冷たさ>は日本人の本質ではなく、その理由を日系ブラジル人のほうが「日本語を十分に習得していないため」と考え、また「日本人が私共を理解して

いないためだろう」と考えている。言語などを媒介とした、相互不理解、コミュニケーションの不足が指摘される所以である。

かくして、この調査項目の回答から見るかぎり、偏見・差別、無知・無理解といったことを感じている者の数は、全体の半数をはるかに超えることが知れる。

その他顕著に見られるものとしては、「日本人が嘘つきだ」という日本人に対する不信感があげられる。その多くは、幹旋業者との関係の中で醸成されているようであるが、このような不信感の払拭は緊急の問題であろう。

いずれにしても、この質問事項に積極的に回答してきた者の中には20代(20-29才)の若者に多く、その数は53人、回答者との比率でいえば58.2%を占める。全母集団の中でこの年代の占める割合47.7%に比べると高い。若者のこの点に関する関心の高さを考慮すれば、日系人の日本人に対するマイナスの意識の形成と定着は、将来にわたっての問題として十分に考慮する必要があるだろう。

人間関係に関する文章回答（自由記入）：

Q18 あなたは日本で日本人に対して何かいやな思いをしたことがありますか。

SQ（あったと答えた場合）それはどんな場合ですか。

に対する回答文（N = 87 / 394）

（年齢順に並べ換えてある）

男 女	年 齢	回 答 文
女	16	（私たちを）信用しない。人種主義(racismo)。
女	17	役所の仲介が必要。私の場合、ドキュメントを入手するのが頭の痛いことだった。
女	18	細かいことを話したくない。
男	18	対応の仕方について。
男	18	日本の習慣・風習の違いによって。
男	19	（日本人は）無知(ignorância)である。
男	19	何人かの日本人が大変尊大である。
男	19	会社の社員との討議の時。
男	19	仕事で目が悪くなった時、主任は仕事が忙しいとって私が医者に行くのを許さなかった。
女	20	侮辱された。
女	20	外国人に対する差別(discriminação)。
女	20	差別。
女	20	外国人に対する明らかな差別。
男	20	待遇について。
男	20	差別。
男	20	彼らは私たちのことを理解していない。そのため神経質になっている。
男	20	サービスが原因で争っている。
男	20	日本人の対応が悪い。
男	20	すべてではないが、一部の日本人の対応の仕方が悪い。
女	21	偏見(preconceito)。
女	21	とりわけ、彼らの言うことを信じたいと思う（が信じられない）。
女	21	言い尽くせないほど沢山ある。
男	21	何人かの日本人は外国人を差別する。
男	21	差別。
女	22	外国人に対する差別。
女	22	わずかの例しか知らないが、給与の支払いがされないことについての反感。
女	22	コミュニケーションの不足。
男	22	仕事の上で。
男	22	嘘つき、人種主義、とりわけブラジル人の値打ちを認めない。
男	22	彼らは大変なナショナリストである。
男	22	給与の支払いがされないことへの反感。
女	23	信頼できない。嘘つき(mentiras)。
女	23	仕事を覚えるに際して。
女	23	日本人は少々冷たい(frio)。
女	23	不快とは言わないが、結論的に何人かの人は冷淡(frios)である。
女	23	差別。私の場合ブラジル人であり、日本語を十分に習得していないためか。
男	23	一部の人は、その多くは子供たちであるが、私たちを<危険なもの>と考えている。
女	24	差別。偏見。妬み(ciúme)。
男	24	まさに人種主義そのものである。
男	24	待遇が最悪。大きな声で怒鳴る。ねたみ(inveja)。人種偏見。無知等々。
男	24	（私たち日系人を）<外人>“Gaijin”として考える。
男	24	監督に際して、無愛想(aspereza)、傲慢(arrogancia)、横暴(ditadura)。
男	24	コミュニケーションが悪い。
女	25	喧嘩した。

女/25	偏見。
女/25	差別。
男/25	仕事中的ことで。
男/25	偏見。
女/26	言葉を知らないため、何が起きているかを質問しても、彼は知ってて知らない顔をする。
男/26	日本人は自分だけが正しいと思っている。島国根性。
男/26	全員ではないが、日本人は嘘つき(falso)。
男/26	上部の人は、生産のことだけ考えて、ブラジル人の人権を忘れている。
男/26	場合によって、日本人の子孫でないように差別される。
男/26	約束したことを実行しない幹旋業者。
女/27	まだ信用できない。
女/28	日常的な仕事での摩擦。日本人は100%仕事の虫だと自分に言い聞かせている。
男/28	日本人の従業員との関係が冷たい。
女/29	仕事仲間の中の何人かが冷淡である。心の温かみがない。
女/29	嘘ばかり言う。時間を守らない。冷淡。待遇の悪い会社がある。
女/29	不信感。日本人は一人の悪いブラジル人を見てそれを全てだと一般化する。全てではない。
女/30	(ブラジル人は)無責任だ、また日本で日本語を知らないということで解雇された。
男/30	ブラジル人であるために差別される。
男/31	待遇について(教育が足りないという)。(調査者注・この人の学歴は大卒)
女/32	偏見を持っている。
女/32	工場ではブラジル人を好きだとふるまう日本人も、実は私共を嫌っている。人種偏見。
男/32	冷淡(indiferença), 冷たい(frieza)。
?/34	家を借りる時に、日本人は外国人を差別する。
女/34	ブラジル人だということで私は好感を持たれたことが無い。
男/34	彼はブラジル人に日本人以上のことを要求している。
女/35	冷たい。
男/35	ひたすらに仕事をすることを要求して、社会的保障が足りない。
男/36	仕事の上で。<外人>"gaijins"再登録で。
女/38	日本人の外国人に対する人種的差別。
男/38	日本人は人種主義者(racista)だ。
男/39	大多数の日本人は、個人主義者である。
女/40	日系人であるにもかかわらず差別される。
女/40	病院での医者への対応が悪い。
男/40	人間関係の諸問題についての私の意見。例えば瓶の蓋がはじけ飛ぶように、争いは危険回避のための警告だ。ブラジルでは、争いは上記のような警告である。日本とは何かを知るためのチャンスと思う。TVの教育番組は面白い。私が思うには、面白いことが人によって違うように、経験を良くするのも悪くするのも人次第だ。
男/42	日本人は、しばしば仕事に関した話しを理解しない。
男/46	主任は雇用者を殴り、悪口を言う。
男/47	到着してすぐのこと、アパートの隣人にインフォメーションを下さいと言ったら、その人は黙ってドアを閉めてしまった。
女/48	差別。
男/48	(ブラジル人を)劣ったもの、卑しいものとする。
男/49	会社の社内でも社外でも、多くの差別がある。
男/49	幹旋業者。
女/50	嘲弄された。
男/50	人間関係で。
男/52	初めの雇用時の<かかりちょう>"kakarityo"や近所の日本人との関係で。
男/56	仕事の手順を指示する時に、年上に対して気がねする。
男/58	(日本語で)ブラジル人、外国人に対する理由のない優越意識。
男/59	私には無愛想に見える。その主な理由は多分日本人が私共を理解していないためだろう。